

教員各位

研究・知財戦略機構長

## 2025年度「法人が給与等を支給する博士研究員 (ポスト・ドクター)」の追加募集について

このことについて、下記のとおり、法人が給与等を支給する博士研究員（ポスト・ドクター）（以下「ポスト・ドクター」という。）の募集を行います。つきましては、ポスト・ドクターの採用を希望される方は、所定の期日までに申請書類を提出してください。

なお、2026年度の募集については、2025年秋学期（10月以降予定）からの募集開始を予定しております。

記

### 1 採用人数 3名程度

### 2 採用期間 2025年9月1日もしくは10月1日～2026年3月31日

### 3 応募資格・条件・採用後の義務等

次の要件に全てあてはまる者を対象とします。なお、採用後、以下の要件を満たさないことが判明した場合は、採用を取り消し、支給された給与等を全額返納していただきます。

#### （1）応募資格

ア 本学の教員が行う研究プロジェクト（※）について、一定の職務を分担して研究に従事する者。ただし、補助的業務の者は認めない。

※原則として、本学の教員が研究代表者の外部研究資金（科学研究費助成事業、公的研究費、受託・共同研究等）に関連する研究プロジェクトを優先します。追加募集については、原則として、申請書類の提出〆切日までに決定している研究プロジェクトが対象となります。

イ 申請書類提出時に既に博士の学位を取得している者、又は、原則として申請書類提出時に博士学位論文受理報告書（証明書）の提出が可能であり、採用開始日の前日（2025年8月31日もしくは9月30日）までに博士の学位を取得できる者。

ウ 採用開始日（2025年9月1日もしくは10月1日）現在で博士の学位を取得後8年未満の者。

#### （2）応募条件

ア ポスト・ドクターの採用回数は継続した2回を限度とし、1回目を追加募集で採用された場合の雇用期間は、継続して最大1年7ヵ月を限度とする。なお、次年度継続して2回目の採用を希望する場合にも改めて応募が必要となる。

イ 応募時点において、研究代表者の外部研究資金（科学研究費助成事業、その他公的研究費・研究助成金、受託・共同研究等）に基づき、ポスト・ドクターが従事する研究プロジェクトが決定していること。

- ・科学研究費助成事業：補助事業期間延長・繰越の研究課題に基づく応募は認めません。
- ・その他の公的研究費・研究助成金：採択決定通知又はそれに準じるものにより採択が確認できること。

- ・受託・共同研究：原則として、委託研究契約・共同研究契約の締結が完了していること。

(3) 採用後の義務

ア ポスト・ドクターは、原則として、2026年度（令和8年度）の科学研究費助成事業に申請すること。

イ ポスト・ドクターは、学内で開催する科学研究費助成事業の申請に関する説明会への参加、もしくは代替となる説明資料の閲覧を行うこと。

ウ ポスト・ドクターは、年度末に成果報告書を提出すること。

エ ポスト・ドクターは、採用申請書等に記載された内容をもとに、法人と雇用契約を締結し、その契約内容に基づいた勤務を行うこと。

(4) その他留意事項

ア ポスト・ドクターは、明治大学の兼任講師を兼ねることができるが、兼任講師としての授業担当時間数は、原則として、1週6時間以内（3コマ）を限度とする。なお、兼任講師を兼ねる場合は、勤務日、勤務時間等の詳細が決まり次第、各キャンパス担当者まで連絡すること。

イ ポスト・ドクターは、原則として、学内において兼任講師以外の業務（アルバイト等）を行うことはできない。ただし、ポスト・ドクターとして従事する研究プロジェクトとは異なる研究プロジェクトにおいて、当該プロジェクトの研究費等を原資とした、謝礼の対象となる役務（通訳や講演等）が認められる場合があるため、ポスト・ドクターの研究代表者が、必ず事前に研究知財事務室に相談すること。（研究補助業務等のアルバイトを行うことはできないため留意すること。）

※ポスト・ドクターは、原則として、学内においては所定の研究プロジェクトの業務に専従する必要があります（兼任講師を除く）。謝礼の対象となる役務によるポスト・ドクターの勤務条件の変更や、その他影響・支障が生じる内容は認められません。

※ポスト・ドクターとして従事する研究プロジェクトに関する活動を、謝礼の対象とすることはできません。

ウ ポスト・ドクターの1週当たりの勤務時間は、20時間以上とする。なお、1週当たりの労働時間は、本務となる本学での労働時間を含め、40時間以内とする必要があるため、留意すること。

## 4 申請書類

- (1) ポスト・ドクター採用申請書
- (2) 履歴書（日本国籍用/外国籍用）
- (3) 業績書（和文/英文）
- (4) 推薦書

- (5) 学位取得証明書（修了証明書）または博士學位論文受理報告書（証明書）  
※博士學位論文受理報告書（証明書）が応募時点で発行されない場合は、「学位請求書の写し」を提出し、当該報告書は発行と同時に提出してください。
- (6) 主要な論文2編（博士學位取得論文を除く）
- (7) 「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する申告書」（候補者が居住者の場合）  
※候補者が作成してください。
- (8) 「安全保障輸出管理事前点検シート」（候補者が非居住者又は（7）特定類型該当者の場合）  
※研究代表者が作成してください。
- (9) 外国籍の場合、以下のアおよびイ（イは日本国内に居住している場合のみ）  
ア パスポートの写し（氏名、生年月日、パスポート番号、写真、有効期限、及びイミグレーションスタンプの頁）  
イ 在留カードの写し（両面）または住民票（3か月以内に発行のもの）
- (10) 改姓により、学位取得証明書と申請書類中の姓が異なる場合、3か月以内に発行された改姓がわかる証明書等（写しで可）を1部提出してください。
- (11) 1名の研究代表者が複数の候補者を申請する場合、別途当該候補者の優先順位・理由を付した書類（様式自由）を提出してください。なお、提出された内容は、審査での参考情報とさせていただきます。（審査結果が希望の優先順位とならない場合があります。）
- ※(1)～(4)・(7)・(8)については、本学ウェブサイトから所定の書式をダウンロードして使用してください。
- (1)～(4)・(7) <https://www.meiji.ac.jp/osri/topics/news2025.html>  
(8) <https://www.meiji.ac.jp/koho/about/export/research/research.html>
- ※その他、申請資格の確認および審査に必要な書類の追加提出を求める場合があります。

## 5 申請手続

申請書類提出先 研究知財事務室（駿河台・和泉）、生田研究知財事務室、  
中野教育研究支援事務室〔研究推進係〕のいずれかに提出してください。

**提出〆切** **2025年5月21日（水）16時まで（必着）**

## 6 審査

書類審査により行い、研究プロジェクトの計画性、継続性、ポスト・ドクターを必要とする妥当性、公的資金等の獲得状況、候補者の研究経歴・業績などを総合的に審査します。

## 7 処遇抜粋（詳細は、上記ウェブサイト掲載「ポスト・ドクターの処遇について」を参照ください。）

- (1) ポスト・ドクターには、月額230,000円の給与を支給する。
- (2) ポスト・ドクターの1週当たりの勤務時間は、20時間以上とする。
- (3) ポスト・ドクターの通勤手当は、学校法人明治大学教職員給与規程により、専任教職員に準じて支給する（週3日以下の勤務の場合は実費請求、週4日以上勤務の場合は定期代支給（年2回）の取扱いとなる）。
- (4) ポスト・ドクターの旅費は、学校法人明治大学専任教職員旅費規程に準じて支給する。ただし、

学会出張旅費の支給を受けることができる回数は、年度内2回までとし、そのうち1回は、学会において研究発表を行うことを条件とする。

## 8 審査結果

審査結果については、2025年7月下旬頃（予定）に申請手続きをした教員あてに文書で通知します。

## 9 その他

「法人が給与等を支給する博士研究員（ポスト・ドクター）」の募集については、2026年度以降に制度を変更する可能性があります。

## 10 問合せ先

研究知財事務室（駿河台キャンパス グローバルフロント6階）

内線（駿河台60）4268、E-mail : [osri@mics.meiji.ac.jp](mailto:osri@mics.meiji.ac.jp)

以 上